



平成 28 年 2 月 4 日

各 位

会社名 株式会社 プラッツ
代表者名 代表取締役社長 福山 明利
(コード：7813、東証マザーズ・福証Q-Board)
問合せ先 取締役人事総務部長 河内谷 忠弘
(TEL. 092-584-3434)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 2 月 4 日開催の取締役会において、以下のとおり、平成 27 年 8 月 10 日に開示した平成 28 年 6 月期（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 6 月期 通期連結業績予想値の修正（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想（A）	5,500	250	230	150	161.03
今回修正予想（B）	4,850	95	180	150	161.03
増減額（B-A）	△650	△155	△50	0	—
増減率（%）	△11.8	△62.0	△21.7	0.0	—
（参考）前期連結実績 （平成 27 年 6 月期）	4,814	164	769	523	635.46

2. 修正の理由

(1) 売上高の修正について

主力商品である「Miolet II」の販促活動に引き続き注力していくほか、下半期からの商品ラインナップの拡充と新規事業である見守り通信サービスを平成 28 年 2 月から開始することで売上増を図ってまいります。

足元の介護業界の動向としましては、平成 30 年度に予定されている介護保険の制度改正に関連して、平成 27 年 10 月 7 日に財務省の財政制度分科会が行われ、軽度の介護認定者における福祉用具の貸与について、原則として全額自己負担（現在は 1 割負担）とする方向性が示されております（出所：財務省 HP「財政制度分科会 平成 27 年 10 月 9 日開催 資料一覧」）。こうした動きを背景に同年 11 月以降の介護用電動ベッドの需要が低迷基調となっております。

また、平成 27 年度の介護報酬の減額改定の影響で、特別養護老人ホーム等の収益性が悪化したことなどを背景に高齢者施設の新設数が伸び悩んでいることから、各社間の競争激化が一段と進んでいる状況であります。

このような状況と当第 2 四半期連結累計期間の業績と踏まえ、売上高につきましては、当初予想値の 5,500 百万円から 4,850 百万円（当初予想比 11.8%減）に下方修正しております。

(2) 営業利益の修正について

当社グループの仕入は主に米ドル建てで部品及び商品の輸入仕入を行っているため、米ドルの為替動向が円安（円高）となった場合、短期的には、円ベースでの売上原価が増加（減少）します。

そのため下半期の想定為替レートである 1 ドル=120.00 円と比較して円高傾向が続けば、売上総利益率の向上が見込めるものの、上述の売上高の下方修正により、営業利益につきましては、当初予想値の 250 百万円から 95 百万円（同 62.0%減）に下方修正しております。

(3) 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の修正について

為替デリバティブ取引に関しては、前期末レートである 1 ドル=122.45 円と比較して円高傾向が続けば、評価損を計上する可能性がある反面、売上総利益率は向上することにより当該評価損を吸収できる見込みであるほか、平成 27 年 10 月 15 日に「出資持分の取得（持分法適用関連会社化）のお知らせ」で公表しましたとおり、SHENBANG METAL CO., LTD. を持分法適用関連会社化したことにより、当第 2 四半期会計期間から持分法による投資利益を計上しており、営業外収益の増加を見込んでおります。

しかしながら、上述の営業利益の下方修正により、経常利益につきましては、当初予想値の 230 百万円から 180 百万円（同 21.7%減）に下方修正し、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、持分法による投資利益の影響を踏まえ、当初予想値の 150 百万円を据え置いております。

以上